

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：和歌山県 県土整備部 道路局 道路建設課
和歌山市 都市計画部 街路課

事業の名称：和歌山都市計画道路事業
3・4・37号 紀三井寺駅前線

実施都市名：和歌山県 和歌山市

事業の目的

紀三井寺駅前線は、和歌山県立医科大学及び附属病院の移転に伴い、JR紀勢本線紀三井寺駅と同大学及び附属病院を結ぶ重要な都市計画道路である。

同医科大学附属病院は、当県医療体系の中核機関として移転整備されたものであるが、公共交通機関と直結するアクセスが無く、病院利用者の利便性、安全性が損なわれ、社会福祉の観点からも問題があった。

このため、自由通路と併せて本路線と駅前広場を整備し、病院利用者だけでなく、周辺住民の安全性・利便性の確保と環境の整備を図るものである。

事業概要 (1)

事業名:和歌山都市計画道路事業
3・4・37号 紀三井寺駅前線
路線名:紀三井寺駅前線
事業箇所:和歌山市紀三井寺字鷹場新田
～和歌山市紀三井寺字大輪丁
事業延長:333m、駅前広場:1,680m²
幅員:20m(2車線)
総事業費:約26億円
事業期間:平成7年度～平成17年度

事業概要 (2)

本事業は、和歌山県立医科大学及び附属病院とJR紀三井寺駅とを結ぶ路線を整備する事業であり、同附属病院側213mを和歌山市、JR紀三井寺駅側120m及び自由通路を和歌山県が施工を行ったものである。歩道については、点字ブロックの設置や、段差を少なくするなどバリアフリーに配慮し、安全で安心な道路整備を行っている。

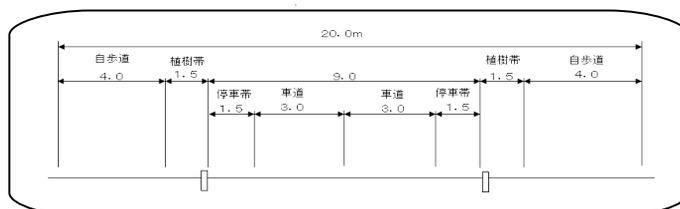
事業位置図



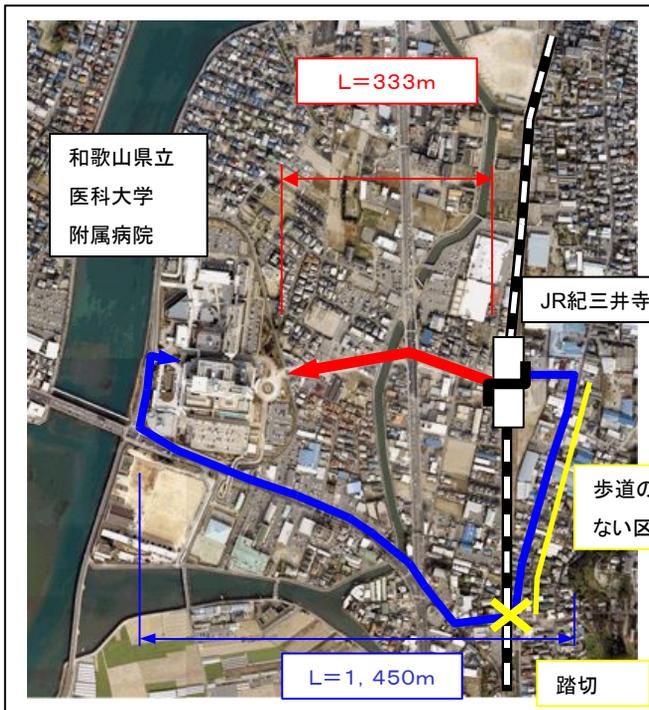
事業平面図



標準断面図



紀三井寺駅前線の整備効果アピール資料



旧紀三井寺駅
(出入口は東側のみ)



JR紀三井寺駅

○駅舎部を橋上化し、自由通路を設置したことにより、西側・東側どちらからでも利用できるようになった。



- 車イスでも安心して利用できるよう
エレベータを設置
- 点字による案内板
- 手すりの設置

○事業概要

事業名: 和歌山都市計画道路事業
3・4・37号紀三井寺駅前線
路線名: 紀三井寺駅前線
事業箇所: 和歌山市紀三井寺字鷹場新田
～和歌山市紀三井寺字大輪丁
事業延長: 333m、駅前広場: 1,680m²
幅員: 20m(2車線)
総事業費: 約26億円
事業期間: H7～H17年度



歩道のない区間



踏切

○通院経路の安全性確保



整備後

「整備効果」

○和歌山県立医科大学附属病院へのアクセス向上

紀三井寺駅から和歌山県立医科大学附属病院までのアクセスが向上しました。

整備前 L=1,450m 約22分(歩行時間)

整備後 L= 333m 約 5分(歩行時間)

○目の不自由な方や、車イスの方が自力での通院が可能に

現道は、歩道がない区間や、踏切があり、利用者には危険な状態であったのが解消され、目の不自由な方や車イスの方が自力での通院が可能になった。

○JR紀三井寺駅の利用客の増加

JR紀三井寺駅の利便性が向上したため、利用客が増加した。

H16年度 2,524人/日

H17年度 2,706人/日

昭和62年撮影



平成9年度撮影



旧JR紀三井寺駅

平成9年度撮影



国体道路から紀三井寺駅
へ向けて撮影

事業後写真

平成18年4月撮影



和歌山県立
医科大学附属病院
より撮影

平成19年2月撮影



JR紀三井寺駅より撮影

平成19年2月撮影



送り迎え状況